

第10回 大宮グランドセントラルステーション推進会議 合同部会
 (第23回基盤整備推進部会、第21回まちづくり推進部会) 主なご意見等

開催日時：令和2年10月28日(水) 15:00~17:00

開催場所：JA 共済埼玉ビル 大会議室

出席者：

選出区分	役職等
学識経験者	埼玉大学 大学院理工学研究科 久保田 尚 教授
学識経験者	東京大学 工学部都市工学科 窪田 亜矢 教授
鉄道事業者	東日本旅客鉄道 総合企画本部 投資計画部 課長 計画調整グループリーダー
鉄道事業者	東日本旅客鉄道 大宮支社 企画室長
鉄道事業者	東武鉄道 経営企画本部 部長
鉄道事業者	東武鉄道 鉄道事業本部 計画管理部長
鉄道事業者	東武鉄道 鉄道事業本部 改良工事部長
鉄道事業者	埼玉新都市交通 代表取締役常務
交通事業者	埼玉県乗用自動車協会 会長
交通事業者	埼玉県バス協会 専務理事
交通事業者	東武バスウエスト 取締役 運輸統括部長(代理)
交通事業者	国際興業 運輸事業部長
交通事業者	西武バス 運輸計画部 計画課長
地元まちづくり団体	大宮駅東口南地区市街地再開発準備組合 理事長
地元まちづくり団体	大宮駅東口南地区市街地再開発準備組合 相談役
地元まちづくり団体	大宮駅東口西地区N街区まちづくり推進協議会 会長
地元まちづくり団体	大宮駅東口西地区N街区まちづくり推進協議会 副会長(代理)
地元まちづくり団体	大宮駅前大門町一丁目中地区市街地再開発準備組合 理事長
地元まちづくり団体	大宮駅前大門町一丁目中地区市街地再開発準備組合 副理事長
地元まちづくり団体	大宮駅東口北地区市街地再開発準備組合 理事長
地元まちづくり団体	大宮駅東口北地区市街地再開発準備組合 専務理事
関係行政機関	埼玉県 企画財政部 交通政策課長(代理)
関係行政機関	埼玉県警察本部 交通部 交通規制課長(代理)
関係行政機関	さいたま市 都市局 理事兼都市計画部長
関係行政機関	さいたま市 都市局 都心整備部長
関係行政機関	さいたま市 建設局 土木部長
関係行政機関	さいたま市 大宮区 副区長
デザインコーディネーター	アーバンデザインセンター大宮 副センター長
オブザーバー	埼玉県 産業労働部 観光課 主幹
オブザーバー	東日本都市再生機構 事業企画部 部付

■パブリック・コメントの実施結果について

- ・まちと駅をつなぐ回遊空間を作ると記載しているが、まちの回遊空間に駅を組み込むという記載の方がよいかもしれない。大宮 GCS プラン 2020(案)概要版 P.9 の視点場については、回遊的な広場と認識していたので記載してほしい。

⇒表現方法を含めて検討する。

- ・自然災害や新型コロナウイルス、事業費、維持管理費、財源、市民参加等の意見に対して真摯に対応していく必要がある。特に自然災害や新型コロナウイルスについては、想定外への対処方法が市民の方の懸念事項と考えられるため、対応について整理したほうがよい。

⇒PT の中で議論を深めながら検討を進めていきたい。想定外への対応については、できるだけ早く進められるような対応を図っていきたい。

- ・デジタル社会の到来は、東京の一極集中や、地震や新型コロナの感染等のリスクを分散化するネットワーク社会へ移行するのを加速させるのではないか。また大宮の地理的条件、位置、交通の結節点という面からして首都圏の核として十分に成り立つのではないか。

■プロジェクトチームの検討状況について

(駅前広場 PT について)

- ・南地区南側の一般車乗降場の扱いはどうなっているのか。

⇒以前記載をしていた経緯があるが、具体的な検討が必要だと認識していたため、今回のプランでは参考資料への記載に留めている。今後、各 PT の話や各地区のまちづくり団体との話し合いの中で再度整理していきたい。

- ・前回の駅前広場 PT で、南地区南側の一般車乗降場のための道路は危ないし必要ないという意見を伝えたにも関わらず今回反映されていない。

⇒大宮 GCS プラン 2020 はこれまで議論してきた内容の到達点という形で整理したものである。今後 PT で具体的な検討がなされた際には、プランの内容も更新されていくことを想定している。

- ・駅前広場 PT の資料に地下の一般車乗降場 8 台分との記載があり、台数を制限しているというのは何故なのか。

⇒もともと南街区への一般車乗降場を想定したときに、地下と地上に台数を割り振った数値が残っている。台数を制限しているわけではないため、この表現は修正する。

- ・地下空間を作る際に、2、3 年前のアンケート調査で歩行者や人が集う場所は太陽が当たる場所

がいいという意見があり、我々はアーバンパレット構想を立ち上げた記憶がある。資料 6 に地下歩行空間に関する記載が 2 カ所もあるがどのように考えているのか。

⇒歩行回遊の実現に向けては、現時点では特に空間を限定しているものではない。どのように歩行者の回遊性が高まっていくのかということを引き続き検討していきたい。

・駅前街区の絵で、駅舎・駅ビル等機能検討エリアと公共的空間等検討エリアは確定に近い表現に見える。このエリアの用途について、なし崩し的に決まるのであれば、開発街区側は事業採算が合うための計算をしていく上で非常に検証が難しくなる。これについて説明してほしい。

⇒色の濃淡については特に意図があるわけではなく、エリアを確定しているものではない。

・JR 東日本としても、駅舎・駅ビル等機能検討エリアと公共的空間等検討エリアについては決まったものではないという認識である。現在も調整中という位置づけは同じ認識である。

・北地区も駐車場の台数、新東西通路の位置・場所・完成時期等が不明なままでは具体的な計画を立てにくい。地下 1 階は商業用途で使いたいと思っている。その際に駅や各街区の地下 1 階の商業フロアを地下の歩行者通路でつないでいけるとよい。そのため地下車路は地下 2 階の階高になることが望ましい。

⇒駐車場の階高が建築計画に影響を及ぼすこともあるため、各地区の建築計画と調整しながら深度化を図っていきたい。これは駅前広場 PT の中で議論する内容だと考えている。

(新東西通路 PT について)

・川崎駅の図面があるが、我々が目指しているアーバンパレット構想があるにも関わらず駅前広場部分の図が隠れている。

⇒特に意図があるわけではなく、川崎市のホームページに掲載されていたものを引用している。駅前広場の部分が知りたいということなので、川崎市役所に図面の提供をいただけないか協議する。

・交流広場は交通広場の北側に位置し、新東西通路の出口と重なるような認識であったが、記載内容が変わったのか。新東西通路の接続部分が西地区にとっては非常に重要なものになるが、交流広場の検討が遅れている。このままでは地権者に説明できない状態が続いてしまう。

⇒現段階では分散配置も含めて整備するイメージであり、具体の位置は示していない。

・駅改良計画に対して、新東西通路 PT の検討事項が整合していない。駅改良計画や公共的空間等検討エリアの議論の場が不明である。

⇒駅改良計画については、現在鉄道事業者と具体的な計画を提示できるよう検討を進めている。

内容については駅前広場 PT や新東西通路 PT 等の関連する PT に報告しながら議論を深めていきたい。必要があれば合同の PT を開催し、議論を深めていきたい。

公共的空間等検討エリアについてもまだ具体的な検討が進んでいない状況であり、各 PT に関連する要素が含まれていると考えている。議題として取り上げていきたい。

(駐車場 PT について)

- ・駐輪場の対策がない。地下 1 階レベルで駅と街区を歩行者空間でつないだ際に、合わせて駐輪場を設けるのはどうか。今ある市有地の駐輪場が開発に伴ってなくなると以前のような放置自転車の状態に戻る可能性がある。このような問題を計画の中にきちんと入れていくことが大事だと思う。

⇒駐輪場については、現在データを整理しているところであり、今後駐車場 PT の中で議論していきたい。早く成果を報告できるように整理を進めていく。

- ・駐車場のルールを検討しているが、フリンジパーキングでここに車をなるべく寄せないというポリシーを実現する制度でなければならない。各ビルへの荷捌き・物流車両の多大な流入が想定される。対応策として有効な共同集配等についても PT で考えてほしい。

(スマート駅前広場研究会について)

- ・駅前広場に関する会議であるスマート駅前広場研究会にはバス事業者しか入っていないが、市とバス事業者だけで駅前を決めてしまうのであれば困る。

⇒スマート駅前広場研究会はメンバーが固定されているものではない。まず、バス事業者の方とバスパスに関する議論をスタートしており、回を重ねるごとに交通管理者やタクシー協会にも入っていただくことを想定している。また、これから各 PT が関連してくる内容が出てきた際には合同の PT を開催して課題の共有を図っていきたい。

(全体スケジュール等について)

- ・かなりタイトなスケジュールになっている。PT 間の連携に関する筋書きやシナリオがあったほうが進めやすいのではないかな。

⇒大宮のまちづくりは単独で進められるものは少ないため、各事業は関わり合いながらしか解決できないと考えている。決められるものから決めていけるように、筋書きを今後検討していきたい。

- ・今まで緊急整備に関してほとんど記載がない。拠点駅として重要な大宮駅を何とかしなければいけないという認識を持ち、緊急性、公共性をよく考えて、優先順位をつけて議論していただきたい。

(その他)

- ・過去に委員が発言した内容がほとんど残っていない。意見は引き続き検討事項にする等の方法にしてもらいたい。
- ⇒いただいた意見がまだまだ反映できていないというご指摘だと思う。方法も含めて再度整理させていただきたい。

■全体の整合と今年度のとりまとめについて

- ・資料 4 に①歩行者空間の付加、②乗降場の地下化、③乗降場の分散配置、3 つの調整の考え方(案)を示しているが、①及び②は今までの議論の結果と整合性がとれていない。①、②については来年度、地下や歩行空間について各 PT で議論し、大宮 GCS プランをバージョンアップさせていく方法をとりたい。1 月 27 日の推進会議は今までの到達点を持ってこの会議体の今年度のとりまとめとするのが全体として整合が取れるのではないか。
- ⇒具体の検討については今年度から進めていく予定で、早くお応えできるように整理していきたい。
- ・地下を整備するコストを懸念している。事業採算を含めた経済性を加味した現実論の話をした。中地区としては 3 年程度での都市計画決定を考えているため、経済性を担保した上で計画を検討していきたい。
 - ・検討は、技術・法律・経済等に関して行っていく必要がある。様々な制約がある中での検討手法等について積極的に議論を進めていきたい。
 - ・一番進んでいる街区のリミットまでには決めないと全体として整合が取れなくなる。様々なアイデアが出ている状況なので、それを踏まえて、リミットも見ながら、来年度 PT で議論していくこととしたい。

以上